

## 編集情報委員の過去と今後

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
常務理事 清水 邦昭



今回、私が巻頭言を執筆するに当たり、編集情報委員から今までについて思い返してみました。

委員になったのは上司の勧めで、当時の委員長や他の委員のかたがたの指導の下、会誌の起案や校正、ホームページの更新などを勉強しながら行い、次第に慣れていきました。

当時は会誌が年6回発行され、ホームページは編集情報委員の手作りのものが使われていました。会誌の校正などが主な会務かと考えていましたが、ホームページの更新もやって欲しいということで、担当者に教えていただき、やってみることにしました。ホームページのアップは今思うと良い経験でした。

ホームページに掲載する流れは、以下の通りとなっていました。

学術委員などから掲載依頼があると、委員長による校正済みで副会長の許可を得たものがメールで送られてきます。メールでやり取りするため、技師会事務所に行く必要はありません。依頼のメールがあったら即日か、内容によっては数日中に掲載するよう心掛けていました。現在はWordPressを使用したホームページとなっていますが、当時はホームページビルダーでひな型を作って、依頼されたものをそれに当てはめてアップするという作業で、月に10件程度の掲載でした。作業は自宅でもできましたが、子供が小さかったため、寝静まった後から始め、深夜まで行っていました。慣れるまでは時間がかかりましたが、慣れてしまえばそれほど時間はかからずアップできるようになりました。

自分がアップしたホームページを会員やその他一般の方に見ていただけるということは責任もありましたが、責任の重さは魅力があり続けていき

たいと思っていましたし、外部委託になるまで続けられて良かったと思っています。

ホームページが外部委託になったところで、それによる広報強化のため会誌は年4回の発行に変更されました。

そのホームページも外部委託にしてから長い期間が経ちますが、情報提供のみであれば問題はなく使用できています。

しかし、現在は一般的には多くの機能が組み込まれているホームページが多く、当会も足りない機能を追加する必要があり、今後はリニューアルを検討しているところです。

また各種料金の請求書などは、ペーパーレスがさらに進んでいて、紙の請求書が必要なら有料という企業も多々あります。それを踏まえて当会では、電子ブックサービスを開始しており、技師向けトップページの左タブよりログインして閲覧することができます。こちらは順次拡張していて、この会誌が発行される頃には2009年まで閲覧することができるようになっている予定です。2010年から2023年まではホームページの「会誌・埼玉放射線」のタブよりダウンロードできます。

今すぐにではありませんが、将来は会誌印刷を続けるか否かを検討する必要があると考えております。編集情報委員会は、印刷に回す手順は省略できますが、会員の皆さまに会誌の閲覧方法を広報する必要はあります。

会誌印刷の時間が省略できるため今のような月末頃発行ではなく、中旬には閲覧ができるものと考えています。

時代の流れに沿って行く埼玉県診療放射線技師会になるよう、編集情報委員は協力して即時性の高い情報を広報していきたいと考えています。